

令和 3 年度
社会福祉法人愛光園
事業報告書

目次

| | |
|----------------------|----|
| 1、総括 | 1 |
| 2、各事業所の状況 | |
| （1）稲岡事業所 | 1 |
| （2）アイタウン | 4 |
| （3）山川事業所 | 5 |
| （4）大久保事業所 | 7 |
| （5）あづま事業所 | 8 |
| （6）六郷事業所 | 11 |
| （7）猿田事業所 | 14 |
| （8）愛光園障害者相談支援センター共生 | 15 |
| （9）足利市障がい者基幹相談支援センター | 16 |
| 3、部会報告 | |
| （1）就労部会 | 19 |
| （2）介護部会 | 20 |
| （3）居住部会 | 21 |
| （4）地域支援部会 | 22 |
| 4、委員会報告 | |
| （1）人材育成委員会 | 23 |
| （2）広報委員会 | 24 |
| （3）職場環境委員会 | 25 |
| 5、評議員会の開催状況 | 25 |
| 6、理事会の開催状況 | 26 |
| 7、外部研修等実施状況 | 27 |
| 8、事業別職員数 | 31 |
| 9、補助事業の活用状況 | 32 |

1. 総括

新型コロナウイルスの感染拡大は、現在に至っても猛威をふるい続け、むしろ感染者は増加の一途をたどり、この防止策として有効とされるワクチン接種をもってしても、終息はまだまだ先のようにあり、当分の間は気を緩められない日常が続いています。

令和3年度はこれ以外にも、ウクライナ危機によるエネルギー価格の高騰をはじめとして、食料・生活必需品にも値上がり相次ぎ、法人の運営を揺るがしかねない状況になっています。

私達の役割は法人・施設を利用していただいている利用者様をはじめ、その関係者に安心した生活を送っていただき、安全な居場所を提供するのが使命であり、このことを原点として日々研鑽を重ねながら邁進してまいりました。

以下令和3年度の事業報告です。

① コロナの感染対策の徹底

2年目に入ったコロナ禍での運営において、通常の感染対策に加え、併用利用の休止や行動エリアの分け等を実施し、クラスター等が発生することなく事業を運営することが出来ました。

② 館林市内に第3の事業所の設置

法人の生活支援拠点整備と医療との連携を目指し、開所準備を行いました(令和4年4月開所)。

③ 規程の見直し等による働き方の整備

就業規則や給与制度の見直しをはかるべく、専門家を加えて検討し、規程の再整備を行いました。それにより、今後の職員の公正な評価や職場の可視化につなげていくことができると考えております。また法人内に整備されている部会・委員会の活動を強化し、職員が働きやすい職場を目指しました。

④ 就労分野での値上げの実施

食品及びクリーニング分野での値上げを取引先等にお願いし、実現中です。合わせて更なる生産・製造の効率化を実施してまいりました。これにより、出来るだけ利用者様に支給する工賃を維持・向上に努めました。

⑤ 法人内の虐待防止策を徹底し、部会ごとに、より現場に則した取り組みの他、専門家による研修を実施しました。また、新たに法人の職員としての指針を作成し、全員へ周知徹底を行いました。

⑥ その他当初計画した項目についてはおおむね実施・実現できたと考えております。

2. 各事業所の状況

(1) 稲岡事業所

ア、就労系サービス《愛光園(就労継続支援B型)》・《共働舎(生活介護)》

a 概況

- ・前年度に引き続きコロナ禍の運営について、全国の感染状況により作業量が変化中、1年を通して利用者様の作業量を確保し、手が空いてしまうことが起きないように、作業の提供を行うことができました。
- ・エネルギー価格の高騰により、事業所としても経費が増大中、大型機械の運転時間や節電に取り組みました。また、年度後半には取引先へ値上げの交渉を実施し、一部実現するなど利益の確保に努めました。
- ・モップの交換やビデオの解体作業など、クリーニング以外の作業の検討を行い、実現しました。

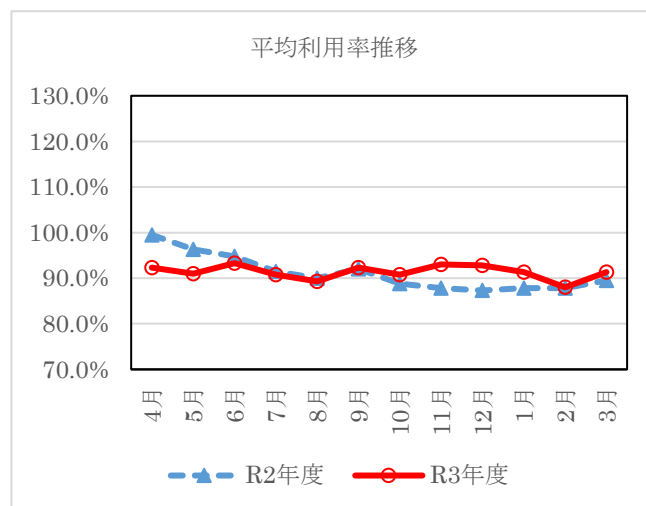
- ・利用者様の評価について、作業場所による負荷等も考慮し、適正な評価を実施したことで平均工賃の向上に繋がりました。
- ・コロナ感染防止のため、感染拡大時期には併用利用の休止や食事の場を区分けするなどを行い、事業所内で濃厚接触者等が出ないように対応を行いました。
- ・利用者のレク活動はコロナ感染予防のため、外出行事を避け、事業所内でのレクに終始することとなりました。具体的にはキッチンカーに来てもらうなどして、ラーメンやクレープの提供を行う等、利用者様にとっても喜んでいただきました。

b 利用率の推移

《愛光園（就労継続支援B型）》

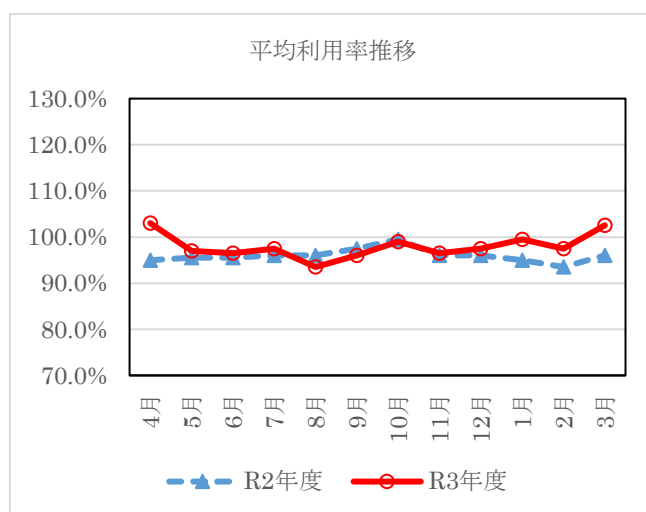
| | |
|--------|---------|
| 定員 | 40名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 11,347名 |
| 平均利用者数 | 36.5名 |
| 平均利用率 | 91.3% |
| 平均工賃 | 32,370円 |

※以下就労継続支援B型は平均工賃、生活介護は平均区分を示しております。



《共働舎（生活介護）》

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 6,079名 |
| 平均利用者数 | 19.6名 |
| 平均利用率 | 98.0% |
| 平均区分 | 4.0 |



イ、入所・介護系サービス《陽光園・(施設入所支援+生活介護)》・《愛光園ホーム（福祉ホーム）》 《サンリット（通所介護、介護予防通所介護）》

a 概況

- ・平均障害支援区分が 5.6 と、R2 年度に引き続き最も重度の方々が多く利用されている事業所として、職員体制 1.7:1 という手厚い職員配置とし、コロナ禍において、感染対策を取りながらではありますが、利用者様に喜んでいただいている入浴サービスをはじめ、食事、余暇など生活の支援を行うことで、楽しみを持って過ごしていただきました。
- ・食事介助時のフェイスシールド着用や、日常の1つとなっているマスクの常時着用など、利用者様にとっては支援者側の表情が分かりづらい環境の中、安心してご利用いただけるよう、丁

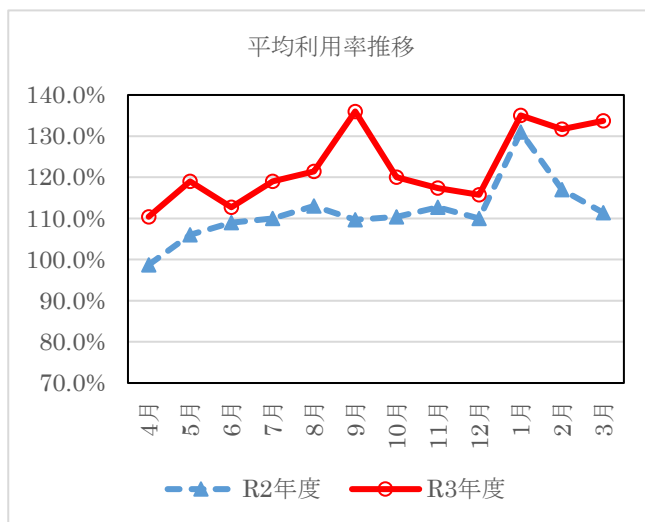
寧な言葉遣いや明るい表情を意識しての支援を行いました。

- ・施設入所、および短期入所においては利用者様、ご家族様、双方にご理解、ご協力をいただくことで外出や面会等の制限を設けさせていただき、感染リスクを下げるなど重度利用者様の多い事業所として対策の徹底を行ってまいりました。
- ・足利の緊急短期入所事業（あっしーネット）において、輪番体制への参加し、地域の中で大切な社会資源の一角として協力体制をとらせていただきました。
- ・サンリットにおいては、陽光園の企画に参加するほか、利用者層に応じた独自の行事等を企画実施しました。

b 利用率の推移

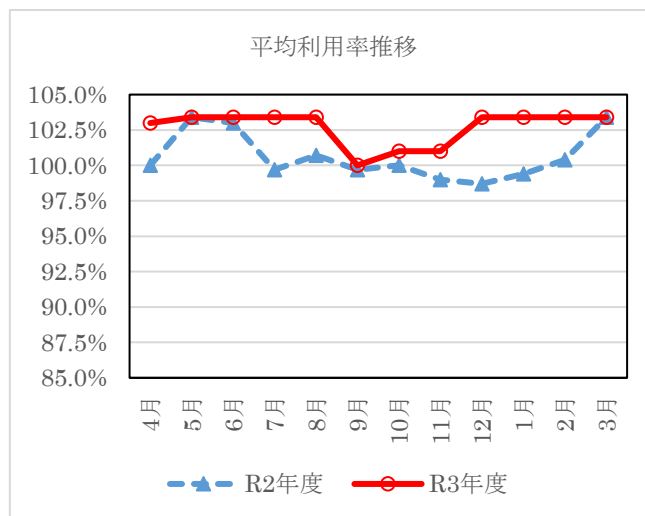
《陽光園（生活介護）》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 11,417名 |
| 平均利用者数 | 36.8名 |
| 平均利用率 | 122.7% |
| 平均区分 | 5.6 |



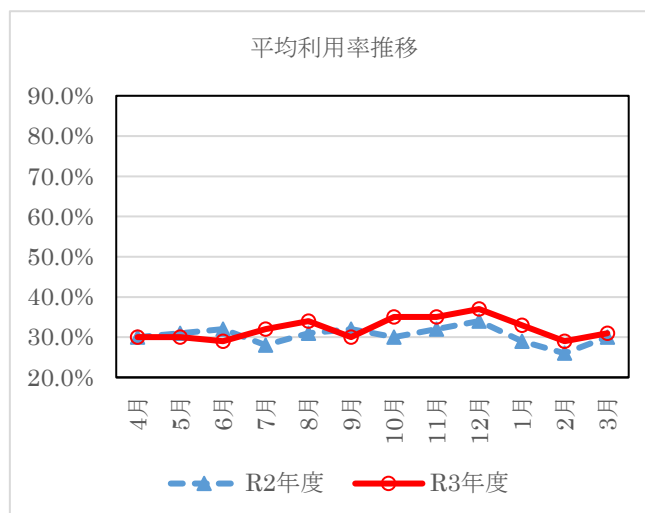
《陽光園（施設入所）》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 11,233名 |
| 平均利用者数 | 30.8名 |
| 平均利用率 | 102.7% |



《サンリット（地域密着型通所介護）》

| | |
|--------|-------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 261日 |
| 延べ利用者数 | 826名 |
| 平均利用者数 | 3.2名 |
| 平均利用率 | 32.0% |



(2) アイタウン《ホームほのか・ホームひだまり（共同生活援助）》

a 概況

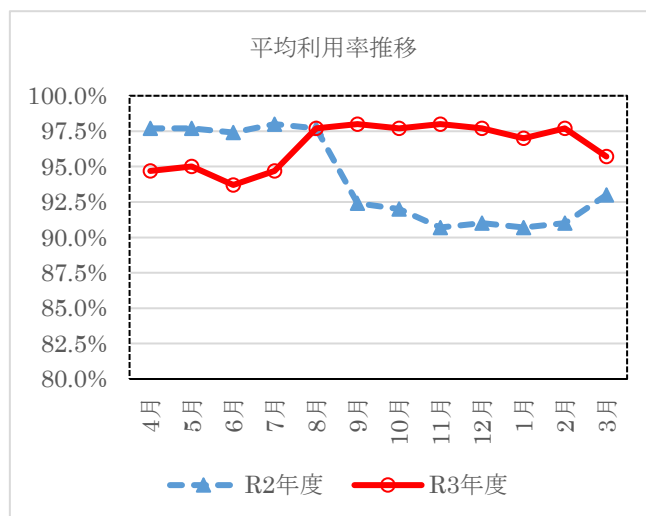
- ・担当制を継続し、利用者様との信頼関係を構築することで、より個々のニーズに合った支援、介助を実施しました。
- ・コロナ禍において、緊急事態宣言やまん延防止措置により面会や外泊が制限されてしまったご家族様にもホームでの様子をお伝えするため、年4回の広報誌のお渡し（郵送）を始めました。
- ・避難確保計画を作成し、水害時の対応（避難場所、避難経路等）を話し合いました。
- ・虐待防止研修は、常勤、非常勤、宿直者全職員に実施し、虐待に対する意識を高めました。
- ・レクリエーションは、コロナウイルス感染予防から法人内、屋外中心となりました。キッチンカーによる出前クレープ、スイカ割など初めての企画もあり、多くの利用者楽しんでいただきました。

| | | | |
|-----|--------------------|-----|---------------|
| 4月 | お花見ピクニック | 5月 | みますやスイーツ |
| 6月 | キッチンカークレープ、花植え | 7月 | スイカ割とミニバーベキュー |
| 8月 | 花火 | | |
| 10月 | テイクアウト（選べるお弁当） | 11月 | 焼きまんじゅう（炭火） |
| 12月 | クリスマス会（ピザ、ビンゴ大会など） | 1月 | 初詣、書初め |
| 2月 | 恵方巻とつみれ汁 | 3月 | テイクアウト（はま寿司等） |

b 利用率の推移

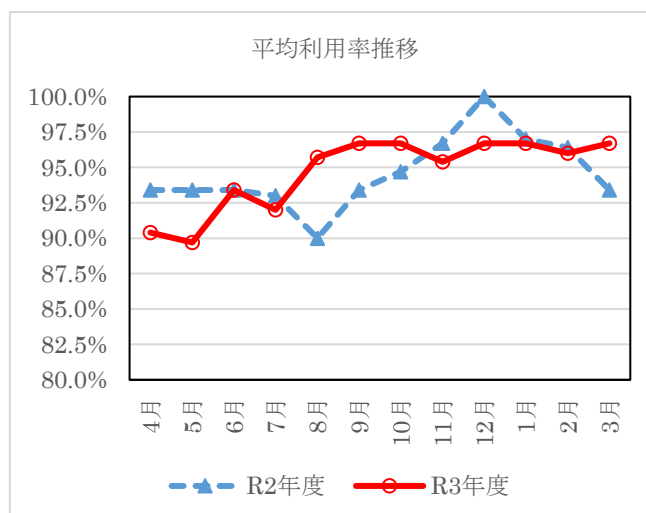
《ホームほのか（共同生活援助）》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 10,540名 |
| 平均利用者数 | 28.9名 |
| 平均利用率 | 96.4% |



《ホームひだまり（共同生活援助）》

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 10,357名 |
| 平均利用者数 | 28.4名 |
| 平均利用率 | 94.7% |



(3) 山川事業所

ア、《足利愛光園（生活介護・就労継続支援B型）》

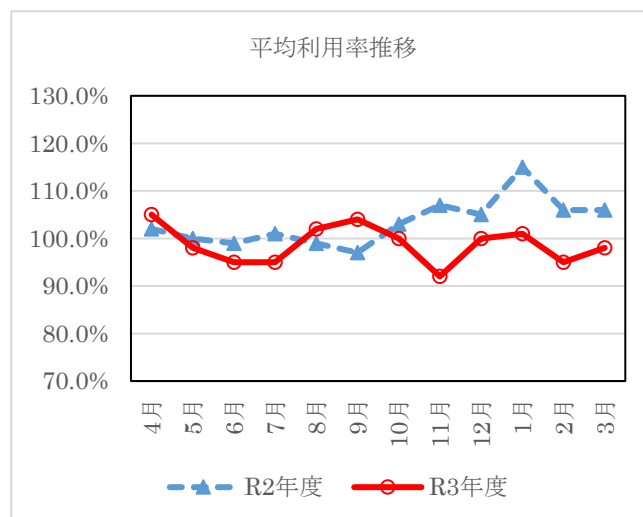
a 概況

- ・第1工場棟の外壁工事を行いきれいな外観に変わりました（色はブルー）。また、2F作業室の床面を張り替えてワゴンの移動や清掃がしやすくなりきれいな作業室になりました。
- ・生産活動（クリーニング関係）については受注量も安定した作業量を確保できました。
- ・年末位から都市ガスの価格が上がり始めたため、ランニングコストが上がり非常に厳しい状況が続いておりますが、今まで以上に経費節減の取り組みを推進しながら対応しています。
- ・就労継続支援B型の利用者様の作業種目を増やす取り組みを行う事で、作業に対する意欲向上が見られました。また、効率よく行う事で作業評価も上がり高工賃の支給へ繋がりました。
- ・主要機械の日頃のメンテナンスに加え、老朽化し始めた設備に注意をしながら対応し、早めにメーカー等と連絡調整を行い、生産活動に影響しない体制で取り組む事ができました。
- ・熱中症対策で、洗濯工程担当の利用者様に対してはスポーツドリンクの提供等を行いました。また、全員に暑い時期のアイスクリームの提供を行い大変好評でした。
- ・誕生月の利用者様を対象にお祝い昼食を提供し好評でした（各月の利用者様が選択出来る内容）。
- ・行事についてはコロナウイルス感染症の影響もあり事業所内で出来る行事を行いました。（かき氷レクリエーション、クリスマス会、歳末プレゼント、餅つき大会、一歩出前レク）
- ・外出レクは法人内；一歩、三軒屋總本店に限定して行いました。
- ・コロナ、インフルエンザ等の感染症対策（朝・昼の体温確認、マスクの着用、手指消毒の徹底、作業場の換気）を通年行う事で、感染症のクラスターを発生する事なく生産活動が行えました。

b 利用率の推移

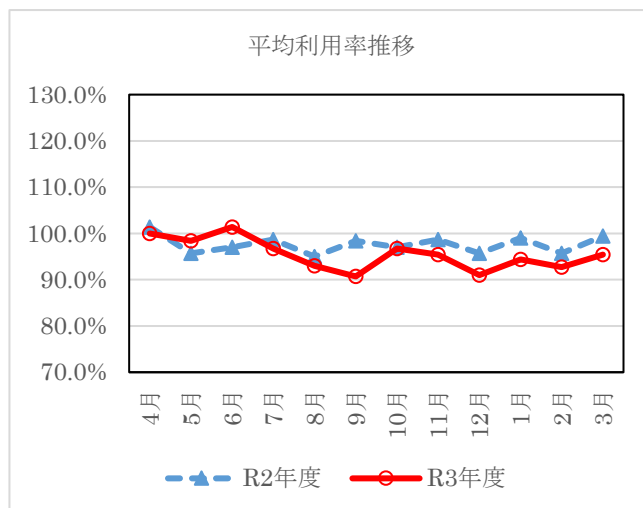
生活介護

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 312日 |
| 延べ利用者数 | 3,066名 |
| 平均利用者数 | 9.9名 |
| 平均利用率 | 99.0% |
| 平均区分 | 4.2 |



就労継続支援B型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 312日 |
| 延べ利用者数 | 8,925名 |
| 平均利用者数 | 28.7名 |
| 平均利用率 | 95.7% |
| 平均工賃 | 36,935円 |



イ、《愛光園ホームあすか（共同生活援助）》

a 概況

- ・コロナウイルス感染等に注意しながらの生活全般の支援を行いました（マスクの着用、手指消毒、取手等の消毒、トイレ・洗面所・共同使用箇所の消毒の徹底、買い物代行等）。また、毎朝/夕の検温・健康状態の把握を行う事で、感染症等のリスク軽減に繋がりました。
- ・感染拡大時期には外出や外泊の制限を実施し、利用者様・ご家族様等にも感染症リスクの軽減に協力いただきました。
- ・レクリエーションについては、職員と利用者の方が一緒に活動参加が行える様に工夫し交流出来る様に対応しました。

6月 エコバック作り（工作レクリエーション；絵を描いたり、装飾品を付ける）

7月 セタレクリエーション：（にゅう麺・わらび餅を利用者と一緒に作り食べました）

12月 クリスマス会：モスバーガー：チキンセット&デザート提供（餅つき&雑煮含む）

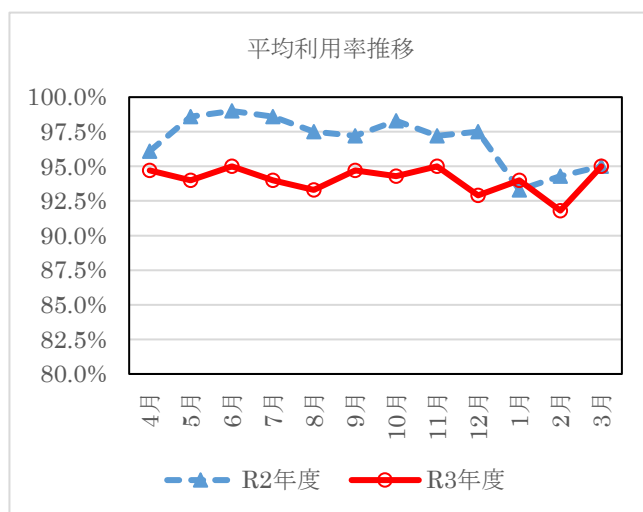
1月 手作りチキンカレーの日：スタッフが手作りカレーを作り提供。

節分レクリエーション：恵方巻とから揚げを提供し楽しく過ごしました。

3月 釜煮の釜飯：6品目から利用者が選んで夕食に提供しました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 28名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 9,598名 |
| 平均利用者数 | 26.3名 |
| 平均利用率 | 94.0% |



(4) 大久保事業所

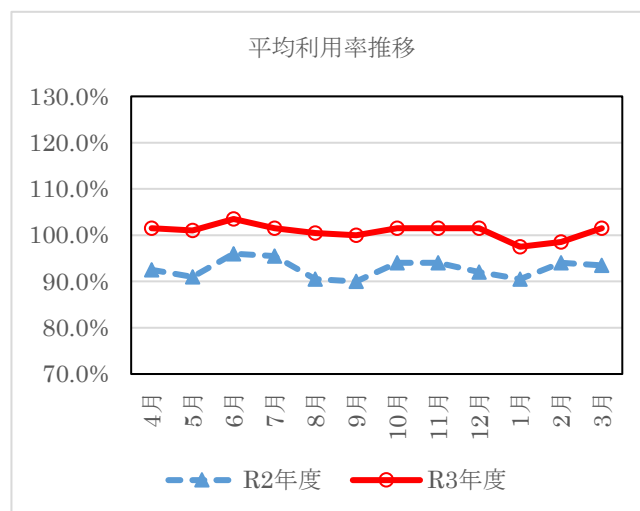
《一步（就労継続支援B型）》

a 概況

- ・コロナ禍において、売上向上と利用者様の工賃向上のため、法人内事業所と連携し販売促進の協力を進めました。
- ・ハートショップ部会参加事業所の一員として、地域に根付く販売活動ができるよう、他団体と共に精励しました。
- ・虐待のない、風通しの良い事業所づくりを行うため、虐待防止研修を定期的に行いました。また、広報誌『一步報』を発行し、販売やレクレーションなどの様子をご家族様等にお知らせすることで、情報の共有や、透明性のある事業所づくりを行いました。
- ・感染症の予防、また、食品を扱う事業所として、アルコール手指消毒、手洗いを励行し、常に清潔な状態を保持できるよう努めました。コロナ禍による売り上げ減少において、法人内事業所の協力により売り上げ確保に努めました。
- ・利用者様の社会参加の実現を目指す為、それぞれの障がいの程度や特性に応じた作業支援の提供を行い、また、能力の向上に努めました。
- ・職員、利用者様共に協力し、新商品の開発を進めることで、売り上げの向上と工賃向上を目指しました。
- ・令和2年4月から施行された食品表示法に則り、加工食品の食品表示を実施しました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 269日 |
| 延べ利用者数 | 5,415名 |
| 平均利用者数 | 20.2名 |
| 平均利用率 | 101.0% |
| 平均工賃 | 15,045円 |



(5) あづま事業所

ア、《彩光園（生活介護・就労継続支援B型）》

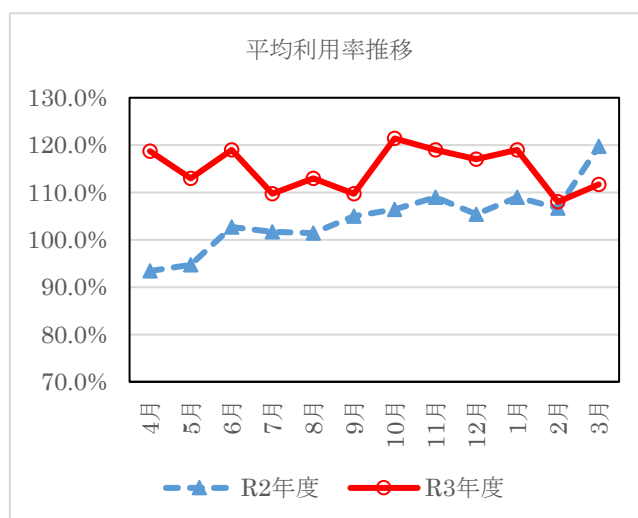
a 概況

- ・作業においては、クリーニングのたたみ作業に加え、ビデオテープの解体作業や収納キャスターの梱包作業を取り入れて、支援を行ってまいりました。また、様々な障がい特性に応じた作業提供、コロナ禍における感染防止対策、バリアフリーの環境、効率良い生産活動が行えるように日々研鑽をし、安心して作業を行える環境設定を行いました。
- ・施設外就労では6年目を迎え、協力企業との連携強化をすすめ、利用者様の作業能力に応じてステップアップできる機会を設けながら取り組みました。作業内容もクリーニングの前処理作業を中心に多種に渡り任せていただけるようになり、利用者様も作業に対するの責任感も増し、自覚をもって作業に取り組んでいただきました。
- ・彩ホール内においてコロナ禍の中、感染症予防対策を徹底し、利用者様の健康管理に努めました。
- ・一部室内レクや外出行事等の自粛により活動の制限を強いられる中、安全にかつ利用者様に楽しんでいただけるようなレクの企画、実施を行いました。
- ・外部との接触に十分に注意しながら、実習の受入を積極的に行い、利用者様の獲得に努めました。

b 利用率の推移

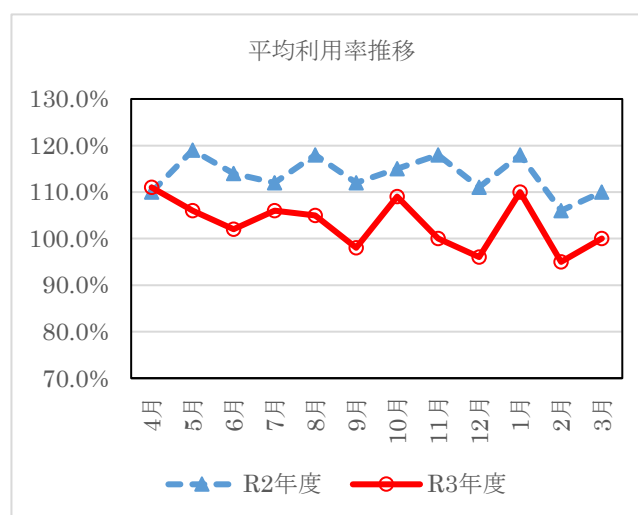
生活介護

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 30名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 10,702名 |
| 平均利用者数 | 34.5名 |
| 平均利用率 | 115.0% |
| 平均区分 | 4.7 |



就労継続支援 B 型

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 3,195名 |
| 平均利用者数 | 10.2名 |
| 平均利用率 | 102.7% |
| 平均工賃 | 27,181円 |



※延べ利用者数、平均利用者数、平均利用率は施設外就労 1,543名/年を除く

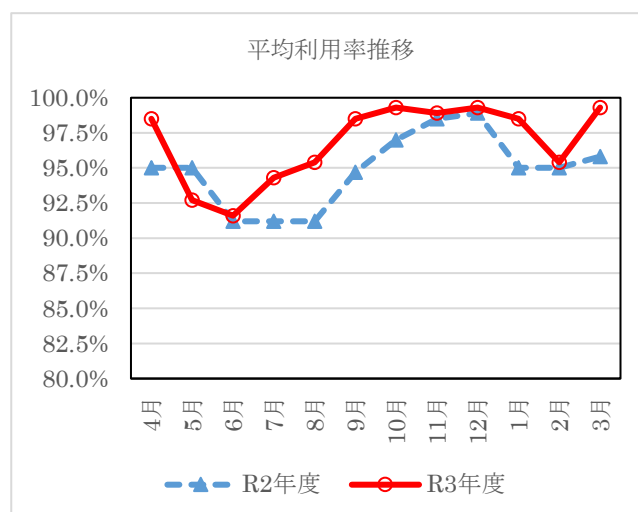
イ、《ホームかがやき（共同生活援助）》

a 概況

- ・障害支援区分は、区分非該当の方から区分6と様々です。棟ごとの平均区分の内訳は、かがやき4.8、きらめき4.8、ひばりは2.0となり、かがやき、きらめきに関しては障害が重度の方も多くご利用いただいております。3棟の平均区分は3.9となりました。
- ・「利用者本位」「利用者主体」を考え、個別支援計画の作成を行いました。また、個々が持つ能力や、ご家族様の要望を汲み取り、日々の支援からモニタリングを実施し、変動するニーズに合った支援を実践しました。
- ・新型コロナウイルス感染の予防のため、手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、換気、3密回避、外出の自粛に努めてきました。皆様のご協力もあってホームかがやきではコロナウイルス感染者ゼロを維持することが出来ました。
- ・コロナ禍により上羽田町八幡宮の祭りや、地区の納涼会は見送りとなり、今年も地域の一員としての関わりが減少する年となりました。
- ・事業所内でのレクリエーションを工夫し、ホールで催しを企画したり、農園で育てた野菜を収穫し皆で味わったり、テイクアウトの食事を楽しんでいただき、利用者様に満足いただけるよう努めました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 26名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 9,169名 |
| 平均利用者数 | 25.2名 |
| 平均利用率 | 97.0% |



ウ、《なないろ（放課後等デイサービス・児童発達支援）》

a 概況

○放課後等デイサービス

- ・コロナ禍の中、ご本人様・ご家族様が安心・安全に利用ができるように、学校休業時には長期休みと同様の時間帯でお預かりし、緊急事態宣言時には感染症対策へのご協力について各家庭に通知を配布しました。
- ・各校のコロナの感染状況についてはご家族様との連絡と SNS から情報を取得し、共通理解のため各家庭への自粛要請をまとめたレジュメは約70通になります。そのため、2、3月には利用児へ自粛要請する事案が続き利用率は激減してしまいました。
- ・ソーシャルディスタンスに配慮した事や細かい感染症対策はもちろん、アルコール消毒やマスク、使い捨て手袋等の物品が十分いきわたり、感染者が出た学校の利用児の方をやむを得ずお預かりする場合にも『きらら棟』で個別に対応しました。

- ・学校休業時のためやむを得ず文書にて支援会議を行うこともありましたが、その他の月には第1水曜日に児童発達支援『きらら』の協議内容も含めて、ご本人への支援や各行事の運営等について共通理解を図り職員のスキルを高く保てるようにしています。
- ・なないろだより『れいんぼう』は各関係機関からも原稿をいただき、行事予定や写真等で利用時の様子をご家族や在籍校へお伝えしています。また、ご家族様へはその日のご本人の活動を具体的にお伝えし、ご希望に応じて個別の相談も随時行っています。

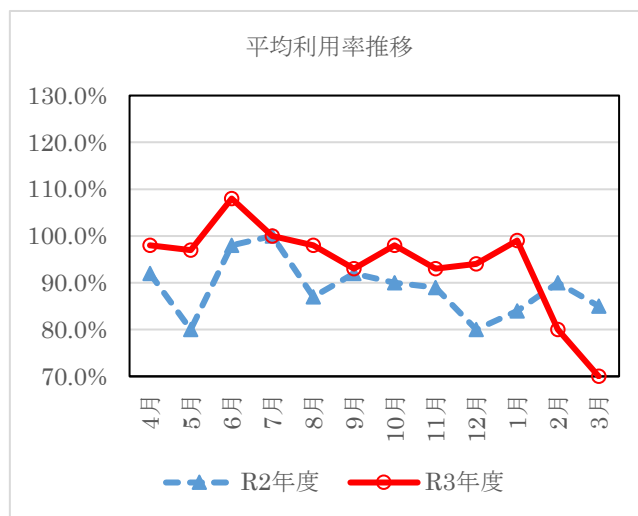
○児童発達支援

- ・年度前半はコロナ禍による保育園や幼稚園の外出自粛でお休みするケースもありましたが、土曜日開所は仕事をしてらっしゃるご家族様の支持を受け、年度後半は多くの利用児の方が通所され充実した活動が実施されました。
- ・支援員を通じて、利用児の方の日々の成長とご家族様の子育ての悩みに細やかに対応できるよう、児童発達管理責任者が随時対応を行いました。
- ・手先の巧緻性やコミュニケーション等を育む個別の支援と、小集団による社会性を育てる療育を組み合わせ提供し、ご家族様から好意的なご意見をいただいております。また、支援員は療育終了後、ご家族様へ利用児の活動の様子や成果を細かく伝え、安心した利用を継続できるよう支援しました。

b 利用率の推移

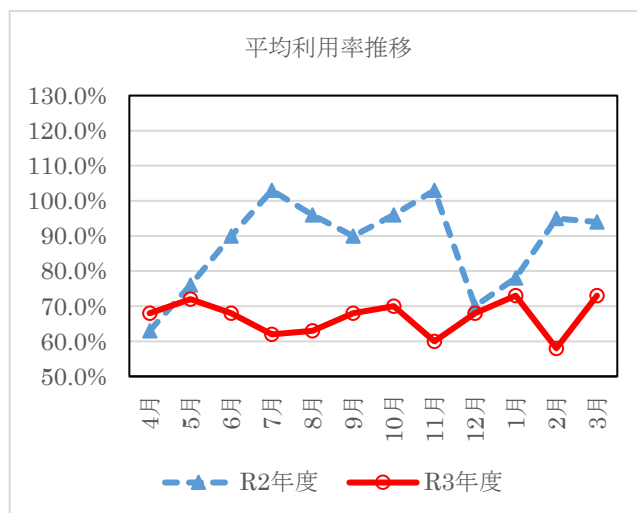
放課後等デイサービス

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 289日 |
| 延べ利用者数 | 2,698名 |
| 平均利用者数 | 9.4名 |
| 平均利用率 | 94.0% |



児童発達支援

| | |
|--------|-------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 51日 |
| 延べ利用者数 | 340名 |
| 平均利用者数 | 6.7名 |
| 平均利用率 | 67.0% |



(6) 六郷事業所

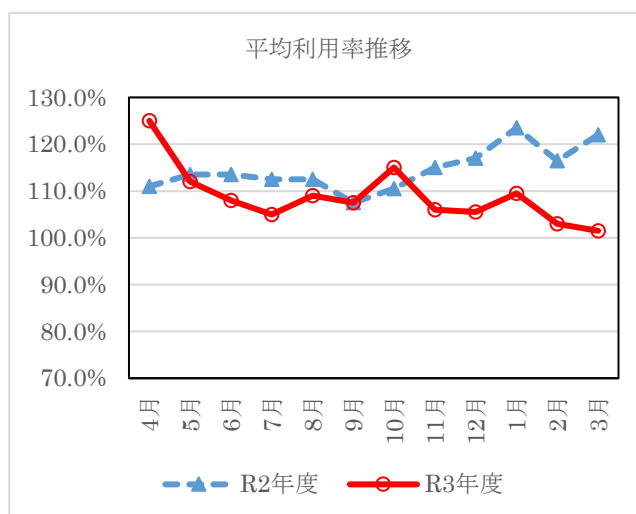
ア、《ラクーン（生活介護）》

a 概況

- ・コロナ禍の影響により、様々な活動の企画や実施が難しい状況となりました。余暇活動の面においては、同一敷地で可能な限り季節を感じられる企画を実施しました。
- ・担当者会議等の開催に努め、情報の共有や問題の解決等に取り組みました。
- ・利用者様からもサービスについてご好評を頂き、年度後半は高い利用率となりました。そのため換気、手洗い、アクリル板等を設置・活用し感染拡大防止に努めました。
- ・法人内介護部会、自立支援協議会のケース検討勉強会や ZOOM 等の WEB 研修を活用し、職員のスキルアップに努めました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 20 名 |
| 開所日数 | 311 日 |
| 延べ利用者数 | 6,763 名 |
| 平均利用者数 | 21.8 名 |
| 平均利用率 | 109.0% |
| 平均区分 | 4.7 |



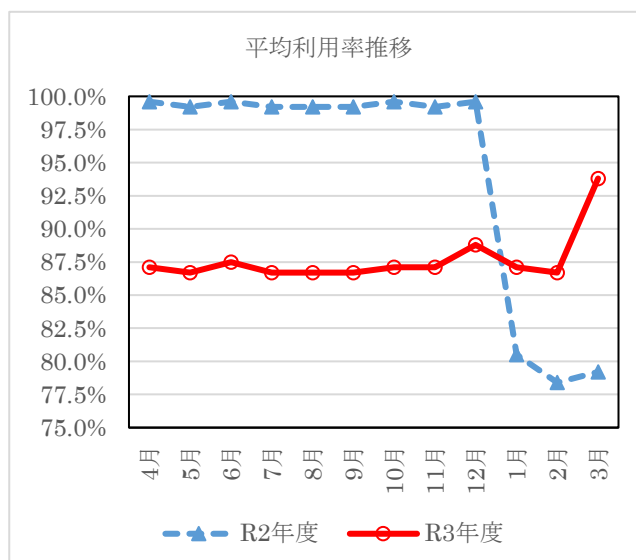
イ、《セレッソ館（共同生活援助）》

a 概況

- ・コロナ禍において、利用者様の健康管理を重視し、安心・安全に生活出来る環境の整備を行いました。
- ・レク行事等も、コロナ禍において、より創意工夫した施設内でのイベントの実施を致しました。
- ・計画的な防災訓練の実施、建物及び什器備品の定期的保守点検の実施を行い、安全・清潔の維持に努めました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|---------|
| 定員 | 24 名 |
| 開所日数 | 365 日 |
| 延べ利用者数 | 7,665 名 |
| 平均利用者数 | 21.0 名 |
| 平均利用率 | 87.5% |



ウ、《三桝屋總本店（生活介護・就労継続支援 B 型）》

a 概況

(就労継続支援 B 型)

- ・法人内 GH への朝食の食材提供をスタートし、令和元年に事業継承以来、最も高い売上を計上することができましたが、年度の後半、原材料や光熱水費等経費の高騰で利益率に関しては厳しい状況もございました。
- ・館林商工会議所主催「家でも店でも楽しめる グルメ総選挙 2021」にて、「マリトッツオ（ホイセンベリー）」が審査員特別奨励賞を受賞しました。
- ・利用者様が関われる工程を増やし、利用者の皆様が活躍できる環境整備を作りました。
- ・食品に関わる事業所として手洗い・消毒を確実にを行い、衛生管理を徹底しました。

(生活介護：みますやあかでみい)

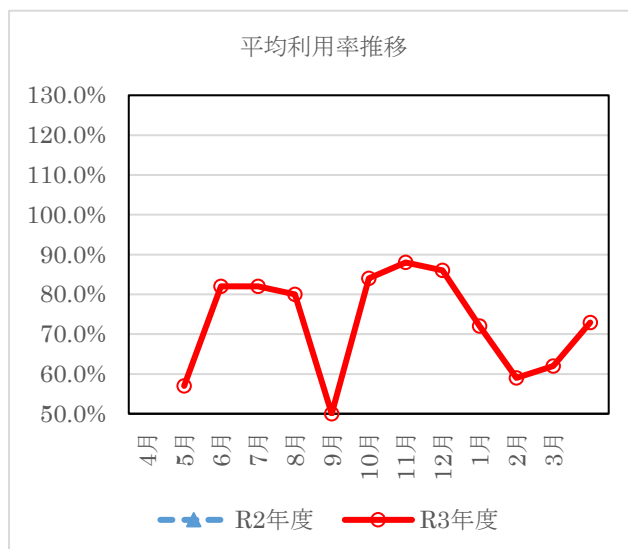
- ・自立支援協議会主催の作品展に出展し高い評価を頂きました。
- ・「利用者の皆様の個性をアートに！」を目指し、ポチ袋やオブジェを制作することができました。

b 利用率の推移

生活介護

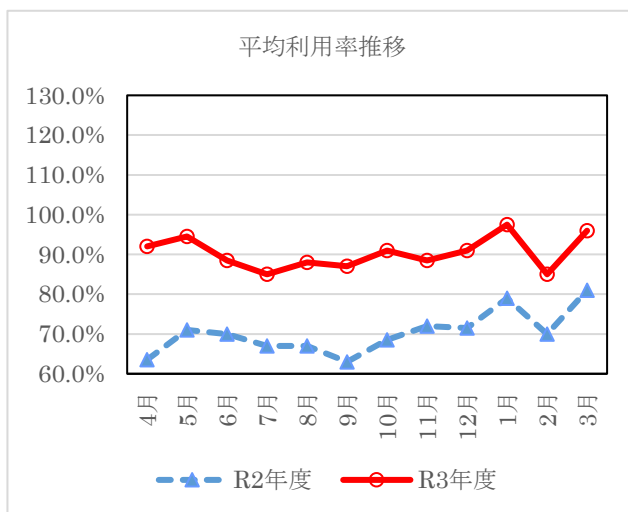
| | |
|--------|---------|
| 定員 | 10 名 |
| 開所日数 | 238 日 |
| 延べ利用者数 | 1,726 名 |
| 平均利用者数 | 7.3 名 |
| 平均利用率 | 73.0% |
| 平均区分 | 4.2 |

※R3 年 5 月開所



就労継続支援 B 型

| | |
|--------|----------|
| 定員 | 20 名 |
| 開所日数 | 311 日 |
| 延べ利用者数 | 5,604 名 |
| 平均利用者数 | 18.1 名 |
| 平均利用率 | 90.5% |
| 平均工賃 | 27,379 円 |



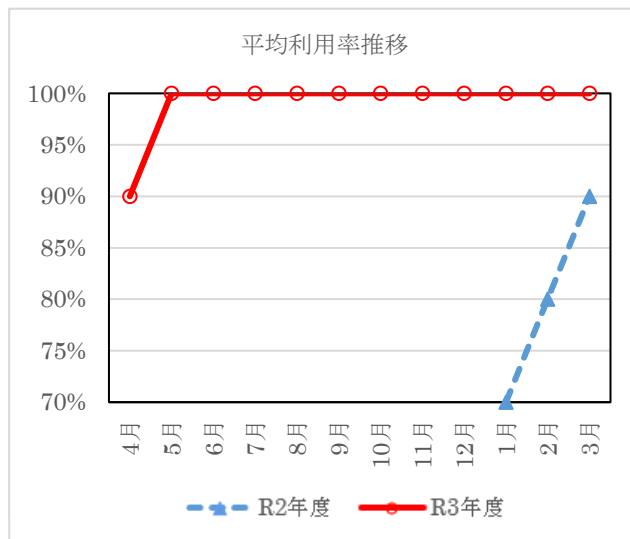
エ、《ホームみやび（共同生活援助）》

a 概況

- ・ R3.5月に定員10名満室となり、その後も継続してご利用を頂いております。
- ・ 昨年度同様、コロナ禍で外出等の自粛をお願いしている中、隔週日曜日の昼食に「麺類」を提供等、レク食を交え利用者様に喜んで頂きました。
- ・ 手洗い・手指消毒・換気・施設内でもマスクの着用等を励行し、利用者様とスタッフ一丸となり、安心安全な生活の場づくりに努めました。

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 10名 |
| 開所日数 | 365日 |
| 延べ利用者数 | 3,619名 |
| 平均利用者数 | 10.0名 |
| 平均利用率 | 100.0% |



(7) 猿田事業所

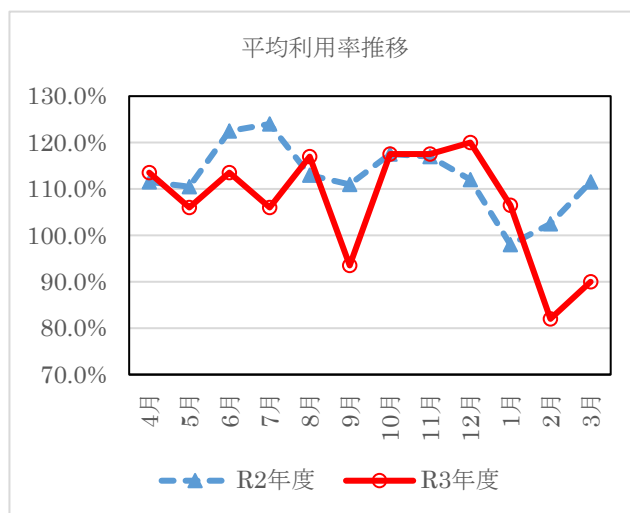
ア、《フルーエ（生活介護）》

a 概況

- ・コロナウイルス感染症対策（テーブル上のパーテーションの設置、マスクの着用「食事介助者対応時のフェイスシールド使用」、うがい、手指消毒、送迎車内の消毒、ホール内の消毒、換気の徹底）を全年行う事で、感染者を出すことなく支援できました。
- ・外出レクを自粛している中、利用者様に喜んでいただくため、キッチンカーやテイクアウト、出前等、普段食べられないものを提供しました。（ラーメン・クレープ・カレー等）
- ・行事については、ホール内でできるものを行いました。（開設3周年記念、手作りおやつ、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、新年会、手作りたぬきそば等）
- ・フルーエの取り組みとしては入浴日と活動日を分けて取り組む事で、利用者様との関わる時間を確保出来、継続した活動の取り組みを行うことができました。活動日（火・木）は音楽療法や創作活動など、楽しく参加出来る内容を提供しました。
- ・生産活動として内職を希望する利用者様が多く、活動を調整しながら提供を行いました（おかずカップ詰め、エバーパッキン）。
- ・職員のスキルアップのため、事業所内研修を実施しました。（リフト・ストレッチャー体験、褥瘡、強度行動障害、口腔ケア等）

b 利用率の推移

| | |
|--------|--------|
| 定員 | 20名 |
| 開所日数 | 311日 |
| 延べ利用者数 | 6,646名 |
| 平均利用者数 | 21.4名 |
| 平均利用率 | 107.0% |
| 平均区分 | 4.9 |



(8) 愛光園障害者相談支援センター共生

| | | | |
|-------------------------|--|---------|--|
| 指定特定相談支援事業所の名称 | 愛光園障害者相談支援センター共生 | | |
| 主な対象市町名 | 栃木県足利市、佐野市、群馬県館林市 | | |
| 職員配置の状況 | 氏名 | 職種等 | 資格等 |
| | 原 健一 | 相談支援専門員 | 社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員 |
| | 室岡 三慈 | 相談支援専門員 | 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員 |
| 業務項目 | 業務の実施方針等 | | 回数、件数、開催時期等 |
| ① サービス等利用計画およびモニタリングの実施 | ○利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような計画を作成しました。 ○利用者の意思及び人格を尊重して、利用者の立場に立ち計画の作成を行いました。 | | 随時 成人 198 件 児童 35 件 |
| | ○利用者の希望や目標の達成状況などを含めて、モニタリングを実施し、生活の向上を目指す支援を行いました。 | | ・モニタリング時期 ・状況の変化に応じて 成人 426 件 児童 29 件 |
| ② 関係機関との連携 | 利用者の望む生活が実現できるよう、市町、障害福祉サービス事業者等との連携を図りました。 | | 随時 |

(9) 足利市障がい者基幹相談支援センター

| 障害者相談支援事業 実績報告書(令和3年度) | | | | | | | | |
|--|-------------------|-----------|---|-----|------|------|-----|-------|
| 障害者相談支援センターの名称等 | 足利市障がい者基幹相談支援センター | | | | | | | |
| 対象市町村名 | 足利市 | | | | | | | |
| 職員配置の状況 | 氏名 | 職種等 | 資格等 | | | | | |
| | 石井 義憲 | センター長 | 放射線技師 | | | | | |
| | 長 秀紀 | 主任相談支援専門員 | 社会福祉士、障害者上級ケアマネ研修修了、介護支援専門員、主任相談支援専門員 | | | | | |
| | 尾澤 嘉孝 | 相談支援専門員 | 手話通訳者、セルフ士、障害者上級ケアマネ研修修了、全リハ協アドバンスコース修了、高校2級社会科教員免許 | | | | | |
| | 勝又 明日香 | 相談支援専門員 | 精神保健福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、公認心理師 | | | | | |
| | 舘野 真弓 | 相談支援専門員 | 社会福祉士 | | | | | |
| 相談実績 | 相談実人数 | | 424(内児童76) | | | | | |
| 相談形態 (延べ件数) | 電話・メール | 来所 | 訪問 | 同行 | 関係機関 | 支援会議 | その他 | 計 |
| | 1,214 | 252 | 474 | 106 | 826 | 26 | 81 | 2,962 |
| 処理(対応)実績(延べ件数) | | | | | | | | |
| 情報の提供 | 1,721 | | | | | | | |
| サービス利用の助言 | 339 | | | | | | | |
| サービス利用の申請援助 | 422 | | | | | | | |
| 生活プラン作成援助 | 1 | | | | | | | |
| 他機関紹介 | 17 | | | | | | | |
| その他 | 1,035 | | | | | | | |
| 合計 | 3,535 | | | | | | | |
| ※相談形態と処理(対応)実績の件数については、1件の相談で複数の処理(対応)をする場合もあるため、件数は一致しません。 | | | | | | | | |
| ○ 主な相談事例 | | | | | | | | |
| 身体障がい者 | | | | | | | | |
| 30代女性、身体障害者手帳2級、他市から転入し、採用が決まっている会社でテレワークにて働きたいとの相談あり。市内の障害者スポーツ団体に以前から所属していたこともあり、当市内に住むことを希望。転出先で支援していた相談支援専門員と連携し、新しく担当する相談支援専門員と住む予定のアパートに訪問し、本人の支援について検討した。検討の結果、入浴介助と掃除でヘルパーの支援、往診などの希望あり。新たに担当する相談支援専門員に対応を引き継いだ。令和4年3月で転入して約1年となり、ヘルパーや往診医や宅配サービスを利用しつつ、趣味の障害者スポーツと仕事を両立させながら生活している。 | | | | | | | | |
| 知的障がい者 | | | | | | | | |
| 高2男性、療育手帳、初めはB2だったが、現在はA2。小さいときに医大附属病院受診、エビリファイを服用したが、歩けなくなってしまったので薬を変更、デパケン、リスパダール、コプレサンを服用。現在、市内の小児科を経て、現在は精神科病院に医大附属病院からきているDrが主治医。高2年になり、卒業後の働く先をどのように決めたらよいかとの相談あり助言、その時に祖母が本人に厳しく当たるとのことから不安定になり、物に当たり、築4年目の家の壁に穴をあけてしまったとの相談あり。成功体験を積むように家族で協力してもらうように説明したが、その後も不安定になると力が強いので止められないなどの相談が再度あった。利用中の放課後デイの職員と訪問、助言や行動障害の対応に就て相談できる方を紹介して母親の不安の減少を図り、本人が不安定になった時には連絡を貰い助言していくことで、現在は本人も母親も落ち着いて生活ができています。 | | | | | | | | |
| 精神障がい者 | | | | | | | | |
| 50代女性。うつ病で現在市内の精神科病院に通院している。数か月前まで介護の仕事に就いていたが、退職。いずれはまた介護の仕事に戻りたいとは思っているが、今はすぐに働ける自信がないこと、睡眠時間がうまくとれずに生活リズムも崩れてきていることから、まずは毎日決まった時間にどこかへ通うことで生活リズムを整えたいという希望が聞かれ、本人は就労支援の利用を希望。福祉サービスで利用できる就労支援を紹介したところ、今回は就労継続支援B型の利用をしたいという意向が聞かれたため、いくつかの事業所を見学し、体験利用を行った。現在市内の就労継続支援B型を週5日利用。順調に通えている。 | | | | | | | | |

社会資源創出等に関する企画・提言(企画・提言の有無、内容、提言結果等を記載)

足利市地域自立支援協議会の各専門部会において、地域課題の協議を行った。

地域支援部会1G(精神疾患のある方の地域課題の協議)

課題:「介護保険サービスの関連機関・施設との連携を図りやすくする」

目的:必要に応じ、ケアマネージャーや地域包括支援センターの担当者と円滑に連携(相談)ができる。

協議結果:取り組み案を検討した結果、以下の案が出された。①介護保険の支援者に気軽に相談できる関係づくり、役割を理解し合える場を作る。②精神科医療機関と地域包括支援センターに相談支援専門員も加えて、介護保険対象者の事例検討や情報交換を行う。③オンラインで行うことも検討。⇒令和4年度も継続協議

課題:「精神障害者への理解、啓発の不足」

目的:精神障害者への理解促進の取り組みにより、支援者および地域住民が共にサポートできるような地域づくりをめざす。

協議結果:市の広報(あしかがみ)に精神障害

について理解を促す記事を部会で作成し、掲載してもらう。⇒令和4年度も継続協議

地域支援部会2G(知的・身体の障がいのある方の地域課題の協議)

課題:「足利市障がい児者施設マップの作成および配布」

目的:障がい児者の施設について周知することで、必要な人に活用してもらう

協議結果:一部修正箇所して完成したため、関係機関から民生委員や学校、相談支援事業等に配布した。

課題:「お陽さまカフェの活用」

目的:地域での障がい理解の促進

協議結果:お陽さまカフェ自体がコロナ禍において開催がない。それ以外で障がい児者が触れ合える場があるか令和4年度に検討。

課題:「安心キットが障がい児者も利用できるようになったことへの周知が不十分」

目的:安心キットを必要な障がい児者に活用してもらい、いざという時に安心できるようにする

協議結果:民生委員を通して配布・使用方法の説明をしているが、正しく活用されていないとの情報もあり、対応を検討。

その他 事例検討部会から提出された課題について協議

就労支援部会(就労に関する課題の協議)

課題:「足利市内の就労系事業所ガイドブック(令和3年7月現在)の作成とHPへのアップと評価」

目的:障がいのある方の進路選択に役立てもらう

協議結果:足利市内のA型3事業所、B型27事業所を掲載。足利市障がい者基幹相談支援センターのHPでダウンロード可とした。また、評価としては、各作業科目や送迎範囲など知りたい情報や写真などあり分かりやすい。学校や相談支援事業所、ハローワーク等では、情報提供に重宝している。

課題:「就労アセスメントの見直し」

目的:就労に関するアセスメントにより、客観的に就労に関するスキルが把握でき、進路の選択の参考にできる。

協議結果:令和4年度より実施できるよう内容を検討した。特別支援学校は2年～実施となった。

児童支援部会(児童に関する課題の協議)

課題:「医療的ケアが必要な子どもと家族のためのガイドブックの作成」

目的:アンケート結果に基づき作成することで、より知りたい情報が得られ、相談支援体制に繋がっていく。

協議結果:内容を吟味し、より分かりやすい内容とした。また、足利市障がい者基幹相談支援センターのHPに掲載した。

ピアカウンセラー(障害者相談員等)の活用による相談の実施(相談回数、相談の概要、結果等を記載)

相談回数:0回

地域の相談支援体制の強化の取り組み

○市内の相談支援事業者に対する専門的な指導、助言

支援困難なケースについて、対応に対する助言を都度行い、場合によって関係者を招集した担当者会議を開催し検討し助言を行った。

○市内の相談支援事業者の人材育成の支援および地域の相談機関との連携強化の取り組み

足利市地域自立支援協議会事例検討部会

事例検討部会では、グループスーパービジョン(GSV)の手法を用いた事例検討を行い、事例提供者に対してのスーパーバイズを行い、支援の気づきを促した。令和3年度は計4回開催し、4事例をGSVで検討し、その他3事例については対応についての意見交換を行った。GSVを行い支援の気づきを共有することで、普段の支援の振り返りや参考になっている。また、相談支援事業所の相談支援専門員が集まり、一つの事例を一緒に検討していくことで、横のつながりも強化されていると考える。

安足地区障害者相談支援事業者等連絡会

コロナ禍において開催ができなかった安足地区障害者相談支援事業者等連絡会を令和4年3月22日(火)にZoomにて開催した。参加は、35名。内容は第1部「AA活動の理解」(とちぎ障がい者相談支援専門員協会との合同開催)と第2部「意見交換」。第1部では、AAわたらせグループの当事者に協力を得て、AA活動とアルコール依存症について、体験談を含めて話していただいた。アルコール依存になった切っ掛け、飲んでいた時の状況とAAにつながった経緯と現在の状況についてを赤裸々に話していただくことで、アルコール依存症やピアの持っている力を理解することができ、スキルアップを図ることが出来た。第2部では、コロナ禍において会うことができない中近況報告をし合うことが出来て大変有意義な時間となった。

Zoomを用いての連絡会はこれが初めてであったが、次年度の開催方法の参考になった。

○幅広い対象者からの相談

身体、知的、精神の障がいのある方以外にも、発達障がい、てんかん、高次脳機能障がい、知的障がいや発達障がいの疑いのある方、若年性認知症のある方など、幅広い相談が寄せられた。対応については、必要な関係機関と連携して対応した。

○特別支援学校の進路相談会への出席
足利特別支援学校の進路相談会および足利中央特別支援学校の進路相談会(就労・福祉)、野沢特別支援学校の進路相談会に出席し、本人および家族、学校ならびに関係機関の担当者と一緒に進路の検討を行った。
○市役所窓口による相談業務 17件
毎週月曜日(祝祭日を除く)の午前9:30～12:00まで市・障がい福祉課に相談支援相談支援員が出向き相談対応を行った。窓口において相談がある場合は、障がい福祉課の担当者と一緒に面接を行い、状況とニーズを確認した上で支援について情報提供した。複数の課題のある方については、児童家庭課や生活保護担当等の担当者と検討を行った。

総合的・専門的な相談支援の実施について

○身体、知的、精神、発達、高次脳、難病等、障がいの種別も多岐に渡り、重複している方からの相談も寄せられたが、特に精神疾患、発達障害のある方の相談が多かった。相談の受付経路は、全体の55%が本人、病院や行政、関係事業所からの紹介で相談受付をした。
また、障がいの疑いがあり、生育歴を確認して療育手帳の交付となりサービスにつなげた事例や自立支援医療の手続き、年金申請の相談もあった。一般就労に関しての相談はより専門的な対応を行う、両毛圏域障害者就業・生活支援センターなどと連携し対応した。
精神疾患のある方については、安足健康福祉センターや精神科病院と医療保護観察の対象者は、宇都宮保護観察所等とも連携して対応した。いずれの事例も、インテーク面接を経てアセスメントを行い、ニーズを明らかにしつつ、関係する機関・団体等と連携して相談を進めた。
○足利中央特別支援学校および足利特別支援学校、のぞわ特別支援学校の進路相談会に市の担当と出席し、本人、親と担任、進路指導主事と卒業後の進路について検討を行った。

その他(関係機関との連携状況等を記載)

○足利市健康福祉部生活保護担当が主催する「生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議」(対面および書面)に出席し、障がい者の対象者に対しての意見交換を行い連携を図った。
○地区の包括支援センター、介護事業所、民生委員、住民等と連携を図るために、北郷地区合議体に参加し、地域の情報と課題の共有を図り、必要な時に連携が図れるようにした。他の地区については、新型コロナウイルスの感染拡大により実施がなく参加はなかった。
○市の若年性認知症の支援の取り組みに参画したが、新型コロナウイルス感染拡大により研修会等の開催はなかった。しかし、若年性認知症の相談においては、認知症支援コーディネーターと連携を図り支援を行った。
○安足地区精神障害者支援ネットワーク会議については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会議は中止となった。
○就学前の保育園、幼稚園の特別支援コーディネーターワーキングに助言者として協力した。
○足利市中心身障害者・発達障害児療育推進連携協議会に委員として出席し、障害児の支援について協議を行った。
○栃木県高次脳機能障害者支援連携協議会に出席し、高次脳機能障害のある方の支援に関するアンケートをまとめた。
○地域生活支援拠点整備事業(あっしーネット事業)の相談はなかった。
令和4年3月31日現在の登録者数は129名である。緊急短期入所事業を利用するにあたり、不安を抱える児童を対象にした体験入所事業についてあっしーネットコアメンバー会議および自立支援協議会において検討していくことになっている。

3. 部会報告

(1) 就労部会

食品事業を含む就労部会としての取り組みを行いました。法人全体で取り込んだ利用者様レクに関わる活動について（コロナ禍での法人内、外出支援）の取り組み推進。クリーニング事業を中心に各事業所の生産性の向上や取り組みの共有・連携を目的としております。また、生活介護が行う創作活動等（内職作業）の導入についても取り組む体制を取っております。

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|---------|-------------|--|----|
| R3.4.20 | 運営会議 | R3 年度部会体制について 就労、介護グループの年間スケジュールについて 就労からの提案について 一歩・三柵屋からの提案について その他 | 7 |
| R3.5.21 | レク委員会 | GOTO 一歩、一歩 SP 当時の流れについて GOTO 三柵屋、三柵屋 SP 当日の流れについて その他（レク費の活用について・熱中症対策・障害者スポーツ大会参加について） | 8 |
| R3.7.5 | 生産委員会 | 各事業所の生産状況 新規品及び解約品の状況 職員状況（入職・退職） 設備営繕関係について 課題と対策について（機械の老朽化対策） 協議事項（東洋リネン清拭布新規導入について） | 8 |
| R3.11.9 | レク委員会 | 一歩 SP 案について GOTO 三柵屋、一歩行事の振り返りについて レク費各事業所の活用方法について 障害者スポーツ大会について | 9 |
| R3.12.3 | 虐待防止研修(部会別) | 法人内虐待事例（常務動画） | 14 |
| R3.12.7 | | 虐待が起きる要因について（パワーポイント使用） 虐待防止事例集 | 11 |
| R3.12.9 | | 行動規範、職員倫理資料について確認 | 14 |
| R4.1.31 | 運営委員会 | 就労部会としての活動（求められる要件） 就労事業所から報告（今後の展開・課題点） 委員会からの報告・研修について | 5 |

* 令和 3 年度の部会員全員が集まったの研修会等はありませんでした。

(2) 介護部会

今年度は感染拡大防止のため、全体会は実施できませんでした。そのため事業所内での研修を各事業にて行い、職員それぞれのスキルアップに努めました。また、新たに法人内に、愛光園介護福祉士会を組織し、事業所内で専門的な必要な介護技術の伝達をするよう努めました。

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|----------|--------|--|----|
| R3.4.21 | 運営会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごとの勉強会について。 ・令和3年度の介護部会の方向性について。 ・介護福祉士会結成について。 ・介護部会運営委員会名称変更について。 | 8 |
| R3.5.21 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごとの勉強会について。 ・介護福祉士会の動向について。 ・入職4年未満のスタッフの研修について。 | 8 |
| R3.6.22 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごとの勉強会について。 ・介護部会年間レク費について。 ・スタッフの他事業所研修について。 | 6 |
| R3.7.17 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・介護福祉士会、移乗勉強について。 ・仕事への臨み方説明会について。 | 8 |
| R3.9.1 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・介護福祉士会進捗状況について。 ・海宝病院について。 | 9 |
| R3.9.30 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・陽光園、他事業所研修について。 | 8 |
| R3.10.26 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・介護部会全体会の開催の可否について。 ・部会別虐待防止研修について。 | 8 |
| R3.11.24 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・部会別虐待防止研修について。 ・年末年始休暇について。 | 8 |
| R3.12.21 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・彩の現在の状況について。 | 8 |
| R4.1.21 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・部会別虐待防止研修について。 ・アイヴィレッジの利用者の選定について。 | 4 |
| R4.2.19 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・令和4年度の介護部会の運営方針指針について。 ・アイヴィレッジの進捗状況について。 | 8 |
| R4.3.21 | ユニット会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ごと勉強会について。 ・腰痛予防体操について。 ・介護部会における人材育成について。 | 8 |

(3) 居住部会

サビ管委員会、レク委員会、生活向上委員会の3部構成とし、住まいの場として、利用者の生活を支える支援と、それに対する事業計画を考えることができる職員の育成を行ない、居住面での支援向上を図っております。

| 日付 | 区分 | 内容 | 人数 |
|----------|--------|--|----|
| R3.4.13 | レク委員会 | 法人内のGH全体でのレクリエーションについて | 3 |
| R3.4.16 | サビ管委員会 | レク委員会、生活向上委員会の取り組みについて 困難ケースについて 利用者情報提供書について | 5 |
| R3.6.21 | サビ管委員会 | コロナウイルス感染対策（面会等）について 各事業所状況報告（空き状況、困難ケース） | 5 |
| R3.7.13 | サビ管委員会 | ワクチン接種について 業務達成確認表について 各事業所状況報告（空き状況、困難ケース） | 5 |
| R3.8.10 | サビ管委員会 | 新規GHの概要について 常備薬の扱いについて | 7 |
| R3.9.14 | サビ管委員会 | 新規GHへの異動優先候補者検討について 虐待防止研修について | 7 |
| R3.10.6 | サビ管委員会 | 面会、外泊、外出の一部制限解除について 新規GHへの異動優先候補者検討について 虐待防止研修について | 7 |
| R3.11.2 | レク委員会 | セレッソ館のレクリエーションの取り組みについて | 8 |
| R3.11.9 | サビ管委員会 | 困難ケースについて 外泊からの帰寮時対応について | 7 |
| R3.12.28 | サビ管委員会 | ノロウイルス等感染症対策について 新規GHへの異動優先候補者検討について | 8 |
| R4.2.4 | サビ管委員会 | 口腔ケアについて コロナ感染者対策（陽性者が出た場合の動き）について | 8 |
| R4.3.11 | サビ管委員会 | 新規GHへの異動時最終確認について 来年度の居住部会について | 8 |

※令和3年度は、生活向上委員会の会議、研修等は実施できませんでした。

(4) 地域支援部会

社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員の有資格者を構成員とし、相談支援が担える人材の育成を行いました。主な活動として部会員が主体となり、支援困難ケースの検討や援助技術等に関する研修を事業所に出向いて実施する出前研修など、自身が企画・運営を行うことで、部会員の学びの場になりました。また、個別の支援に関して、専門的な見地から助言できる人材の育成を行いました。

| 日付 | 区分 | 内容 | 人数 |
|----------|----|--|------|
| R3.5.28 | 研修 | 支援困難事例の検討（事例検討方法について学ぶ） ※生活介護と GH の利用者の検討 | 10 名 |
| R3.8.30 | 研修 | 個別支援会議の検証（足利愛光園） | 11 名 |
| R3.11.30 | 研修 | 個別支援会議の検証（あづま事業所） | 15 名 |
| R4.3.24 | 研修 | 個別支援会議の検証（愛光園） | 10 名 |

4. 委員会報告

(1) 人材育成委員会

職員の支援力向上、組織人として求められる知識・スキルの習得を目的としております。
初級オリエンテーション、中級オリエンテーションといった階層別研修を中心に各種研修の企画・運営と外部研修への参加促進、法人全体での人材育成プログラムの構築に取り組みました。

【委員会開催】

| 日付 | 議題等 | 人数 |
|----------|--|----|
| R3.4.23 | 初級オリ・中級オリについて メンター制度について、今後の委員会について | 6 |
| R3.5.20 | 初級オリエンテーション開催要項確認 ※ZOOM 開催 | 5 |
| R3.6.3 | 初級オリエンテーション開催内容最終確認 部会と連携した研修開催の検討について | 7 |
| R3.7.16 | 初級オリ反省、振り返り／中級オリ専門研修について | 7 |
| R3.8.10 | 地場産センター人材育成セミナー申し込みについて 今後の研修実施方法の検討 | 7 |
| R3.9.15 | 中級オリエンテーション基礎・専門開催予定について 栃木県発達障害者地域支援マネージャーについて 研修媒体、教材利用等について | 7 |
| R3.10.15 | キャリアパス改訂に伴う研修内容の検討 職員定期面談（虐待防止対策）での質問内容について | 6 |
| R3.11.15 | 中級オリ専門研修について／初級オリ（後期）について 勉強会について（資格取得支援） | 5 |
| R3.12.15 | 初級オリ（後期）について／今後の委員会での取り組みについて 中級オリ専門研修「メンタルヘルス」について | 5 |
| R4.2.15 | 年度内開催予定研修について／令和4年度事業計画について ※ZOOM 開催 | 5 |
| R4.3.16 | 令和4年度の活動について／職員向けアンケートについて | 5 |

【研修開催（外部研修受講含む）】

| 日付 | 研修内容 | 人数 |
|------------|--|----|
| R3.7.9/16 | 令和3年度 初級オリエンテーション（前期） 理事長講話、外部講師研修、虐待防止研修、事業所見学 | 12 |
| R3.9.14/15 | 《外部研修》県南地場産センター人材育成セミナー「中堅社員コース」 | 3 |
| R3.10.21 | 中級オリエンテーション基礎研修 理事長講義、外部講師研修（企業理念、お客様満足度向上） | 11 |
| R3.11.17 | 中級オリエンテーション専門研修① 「知的障害のある方への支援（発達障害含む）」 | 20 |
| R4.2.18 | 中級オリエンテーション専門研修④（弁護士研修） 「障害者の権利擁護を考える」 | 25 |

※R4.1 開催予定「初級オリエンテーション（後期）」「中級オリエンテーション専門研修②」は
新型コロナウイルス感染拡大により次年度開催へ変更となる。

(2) 広報委員会

主に法人内・外の広報活動に主に活動をしております。内報では、法人内での共有したい事の内容、外報では Instagram、Facebook を通して福祉に対するイメージアップ活動を中心に広報を行いました。

| 日付 | 区分 | 内容等 | 人数 |
|----------|----------|---|----|
| R3.4.15 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所の広報活動について。 ・外報、内報の実施について。 | 8 |
| R3.5.18 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram等SNSを紙媒体化について。 ・利用データ、クリーニングデータの活用について。 ・広報誌、ホームページの更新頻度について。 | 7 |
| R3.6.2 | SNS担当者会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・掲載頻度、更新頻度について。 ・掲載時の注意点について。 | 14 |
| R3.6.18 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS専用広報誌「アップデート」について。 ・フリーペーパーを使用しての広報について。 ・法人内内報について。 | 5 |
| R3.7.15 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの相違内容訂正について。 ・職員紹介用広報誌について。 | 8 |
| R3.8.25 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報力アップ研修報告会。 ・一步紹介動画について。 | 8 |
| R3.9.25 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・法人のHP情報交換会。 ・アップデート作成者について。 ・ホームページ沿革の訂正について。 | 6 |
| R3.10.22 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS専用広報誌進捗状況について。 ・ホームページの軽微な写真の入れ替えについて。 | 8 |
| R3.11.16 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルネットワーク規程作成に当たって。 ・下半期の活動について | 6 |
| R3.12.16 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設の施設見学会について。 ・一步動画完成版について。 ・ソーシャルネットワーク規程について。 | 6 |
| R4.1.14 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・規程の策定について。 ・動画の閲覧方法について。 | 6 |
| R4.2.15 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS委員会開催について。 ・新規事業所アイヴィレッジの広報活動について。 ・法人内広報活動について。 | 6 |
| R4.3.17 | 広報委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報管理規定について。 ・SNS担当者会議について。 ・来年度の活動について。 | 7 |

(3) 職場環境委員会

- ・ R3 年度より発足しました職場環境委員会では、職場内環境改善や風紀、美化を意識することで働きやすい職場づくりを目指し、結果として利用者様へより良いサービスが提供できることを目標として取り組んでまいりました。特に毎月第一週目においては、特定の取り組み内容を法人内で共有し、各事業所が環境改善等に向け、取り組みを行いました。

取り組み内容：あいさつ週間、言葉遣い意識週間、身辺整理（整頓）意識週間 など

| | |
|-----------|-----------|
| R3 年 8 月 | あいさつ運動週間 |
| R3 年 9 月 | あいさつ運動週間 |
| R3 年 10 月 | 言葉遣い意識週間 |
| R3 年 11 月 | 言葉遣い意識週間 |
| R3 年 12 月 | 身辺整理意識週間 |
| R4 年 1 月 | 身辺整理意識週間 |
| R4 年 2 月 | 衛生意識再確認週間 |
| R4 年 3 月 | 防災意識週間 |

- ・ あづま事業所において 5S 活動を実施し、外部コンサルティングを受けることで、これまで勤務しているスタッフの視点とは違った改善点を確認し、環境改善のために整頓、整理等をおこなないました。
- ・ 利用者様の支援経過記録や日々の業務により作成した書類など、少しずつではありますが管理方法の見直しや、個人情報等の保護などを踏まえた扱いについても再認識し、今後の委員会活動における新たな課題等の把握につながりました。

5. 評議員会の開催状況

| | 日程 | 内容 |
|---|---------|---|
| 1 | R3.6.22 | 理事長の職務執行状況の報告について 役員の選任について 令和 2 年度事業報告について 令和 2 年度決算報告について 育児・介護休業等に関する規程の改正について 社会福祉充実残額について |
| 2 | R4.3.29 | 業務運営状況について 令和 3 年度補正予算（令和 3 年度第 2 次）について 令和 4 年度事業計画について 令和 4 年度予算について 他 |

6. 理事会の開催状況

| | 日程 | 議案内容 |
|---|----------|--|
| 1 | R3.4.27 | 評議員候補者（案）の選定について 評議員選任・解任委員会の開催について |
| 2 | R3.6.4 | 理事長の職務執行状況の報告について 令和2年度事業報告について 令和2年度決算報告について 役員の選定について 令和2年度定時評議員会の開催について 他 |
| 3 | R3.6.22 | 理事長の選定について |
| 4 | R3.8.6 | 虐待事案について 虐待事案に係る関係者の処分について 再発防止策の策定について |
| 5 | R3.11.18 | 理事長の職務執行状況の報告について 令和3年度補正予算（第1次）について 借入の承認について 経理規程の改正について 他 |
| 6 | R4.3.7 | 令和3年度臨時評議員会の開催について |
| 7 | R3.3.29 | 理事長の職務執行状況の報告について 令和3年度指導監査結果について 虐待再発防止の実施状況等について 令和3年度補正予算（令和3年度第2次）について 令和4年度事業計画について 令和4年度予算について 定款の変更について 職員就業規則の改正について 職員給与規程の改正について 他 |

7. 外部研修等実施状況

※本表は職員の資質・技術の向上を目的とする又はその効果を見込む外部の研修等を掲載しています。

| | | 研修名（内容等） | 主催者等 | 参加者 | 所属 |
|----|-------------|--|-----------------------------|--------|---------|
| 1 | 3.4.7 | 令和3年度栃木県サービス管理責任者研修委員会 | NPO 法人栃木県障害者施設・事業協会 | 藤田 勝美 | 三樹屋總本店 |
| 2 | 3.5.12 | 工賃向上フォーラム 2021in とっとり（WEB） | 鳥取県障害者就労事業振興センター | 古澤 蒼生 | 彩光園 |
| | | | | 春山 奈菜 | 彩光園 |
| 3 | 3.5.19 | オンラインセミナー報酬改定後の加算を知る（WEB） | LITALICO 発達ナビ | 川俣 弘美 | 彩光園 |
| 4 | 3.5.26 | 地場産センター5S 勉強会基礎コース | 鈴木 5S コンサルティング(株) | 山本 渉 | セレッソ館 |
| | | | | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 5 | 3.5.28 | 令和3年度安全運転管理者等法定講習 | 公益財団法人群馬県安全運転管理協会 | 関 晋二 | ラクーン |
| 6 | 3.6.2 | 令和3年度障害児通所支援事業所等従事者研修会 | 社旗福祉法人栃木県社旗福祉協議会福祉人材・研修センター | 新保 成美 | なないろ |
| | | | | 島田 水滸 | なないろ |
| 7 | 3.6.8 ～9 | 栃木県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修 | 栃木県障害者施設・事業協会 | 大塚 哲 | ホームほのか |
| 8 | 3.6.2 | 令和3年度栃木県サービス管理責任者更新研修 | 栃木県障害者施設・事業協会 | 恩田 真由美 | 一步 |
| | | | | 三田 由佳理 | 共働舎 |
| | | | | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 9 | 3.6.25 | 令和3年度(令和2年度未実施分)栃木県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害者施設・事業協会 | 黒岩 悦子 | なないろ |
| 10 | 3.6.25 | 令和3年度障害者支援施設等職員・福祉関係職員等研修会（WEB） | 栃木県障害者総合相談所 | 岡嶋 梨加 | 彩光園 |
| 11 | 3.7.2 | 安全運転管理者等法定講習 | 一般社団法人栃木県安全運転管理者協議会 | 小野 広久 | 陽光園 |
| | | | | 羽深 智敬 | 足利愛光園 |
| 12 | 3.7.13 | 強度行動障害支援者養成研修（基礎） | 特定非営利活動法人栃木県障害者施設・事業協会 | 津布子 昌宏 | 彩光園 |
| 13 | 3.7.20 | 安全運転管理者講習 | 一般社団法人栃木県安全運転管理者協議会 | 高橋 啓介 | ホームかがやき |

| | | | | | |
|----|----------------|---|---------------------------------|--------|---------|
| 14 | 3.7.28 | 障害者福祉施設支援員研修会 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 | 関 晋二 | ラクーン |
| | | | | 武石 久美 | 陽光園 |
| | | | | 岩崎 健太郎 | 陽光園 |
| | | | | 天田 衿菜 | 陽光園 |
| | | | | 正田 欣央 | 彩光園 |
| 15 | 3.7.30 | 福祉広報力アップ研修 (WEB) | 栃木県社会福祉協議会 | 佐藤 圭 | ラクーン |
| 16 | 3.9.7 ~10 | 栃木県強度行動障害支援者養成研修 (実践) (WEB) | NPO 法人栃木県障害施設・事業協会 | 津布子 昌宏 | 彩光園 |
| 17 | 3.9.14 ~15 | 地場産センター人材育成セミナー 「中堅社員コース」 | 公益財団法人栃木県南地域地場産業振興センター | 本多 裕也 | フルーエ |
| | | | | 平野 剛 | セレッソ館 |
| | | | | 武石 久美 | 陽光園 |
| 18 | 3.10.4 ~7 | 令和3年度栃木県相談支援従事者初任者研修 (WEB) | 特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会 | 小林 晴香 | なないろ |
| 19 | 3.10.12 ~13 | 令和3年度栃木県サビ管・児澁管基礎研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会 | 藤田 勝美 | 三柵屋總本店 |
| 20 | 3.10.19 | 安全運転管理者等法定講習会 | 栃木県安全運転管理者協議会 | 大越 雅明 | ホームひだまり |
| 21 | 3.11.16 ~18 | 令和3(2021)年度栃木県相談支援従事者現任研修 | 栃木県、栃木県自立支援協議会相談支援部会研修ワーキンググループ | 原 健一 | 共生 |
| 22 | 3.11.19 | 令和3年度栃木県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 | 栃木県障害施設・事業協会 | 津布子 昌宏 | 彩光園 |
| 23 | 3.11.24 | 令和3年度とちぎセルフセンター研修会「SNSを使った販売推進力向上ワークショップ~SNSの基礎を学ぶ~」(WEB) | とちぎセルフセンター | 押山 大徳 | 一步 |
| 24 | 3.11.24 | 社会福祉法人の経営力強化パネルディスカッション (WEB) | 一般社団法人福祉経営研究機構 | 星 美津男 | 愛光園 |
| 25 | 3.11.26 | 令和3(2021)年度栃木県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会 | 星 美津男 | 愛光園 |
| | | | | 藤田 勝美 | 三柵屋總本店 |
| | | | | 永倉 徹 | 彩光園 |
| | | | | 押山 大徳 | 一步 |

| | | | | | |
|----|-----------------|---|-----------------------------|--------|---------|
| 26 | 3.12.1 | 働き方改革関連法に関する説明会 (WEB) | 栃木労働局足利労働基準監督署 | 星 美津男 | 愛光園 |
| 27 | 3.12.2 | 食品リスクマネジメントセミナー (WEB) | NPO 法人日本セルフセンター | 星 美津男 | 愛光園 |
| | | | | 恩田 真由美 | 一步 |
| 28 | 3.12.7 14・21 | 向いてないと思っているリーダー のための面談メゾット習得講座 (WEB) | 日本経営セミナー事務局 | 佐藤 圭 | ラクーン |
| 29 | 3.12.8 | 令和3年度栃木県サービス管理責 任者研修児童発達支援管理責任者 更新研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害 施設・事業協会 | 川俣 弘美 | 彩光園 |
| | | | | 山本 渉 | セレッソ館 |
| 30 | 3.12.13 ～15 | 令和3年度栃木県サービス管理責 任者研修児童発達支援管理責任者 更新研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害 施設・事業協会 | 武石 久美 | 陽光園2 |
| | | | | 森山 僚 | 陽光園 |
| 31 | 3.12.20 | 令和3年度栃木県災害福祉支援チ ーム員登録研修会 | 栃木県社会福祉協議会地域福祉 部施設福祉課 | 小野 広久 | 陽光園 |
| 32 | 3.12.20 ～21 | 令和3年度相談支援従事者初任者 研修 | 栃木県障害施設・事業協会 | 小林 晴香 | なないろ |
| 33 | 4.1.13 ～14 | 令和3年度栃木県サービス管理責 任者児童発達支援管理責任者基礎 研修 | 特定非営利活動法人栃木県障害 施設・事業協会 | 岡嶋 梨加 | 彩光園 |
| 34 | 4.2.1 ～3 | 強度行動障害支援者養成研修 (WEB) | 株式会社エイド | 岩崎 健太郎 | 陽光園 |
| 35 | 4.2.7 ～21 | 強度行動障がい支援者養成研修 (基礎実践研修) | 株式会社エイド | 遠藤 正美 | ホームほのか |
| | | | | 佐藤 圭 | ラクーン |
| | | | | 山田 悦子 | 陽光園 |
| 36 | 4.2.8 ～10 | 強度行動障がい支援者養成研修 (WEB) | 株式会社エイド | 高橋 啓介 | ホームかがやき |
| | | | | 山本 渉 | セレッソ館 |
| | | | | 野本 嘉之 | ホームひだまり |
| | | | | 森 律子 | フルーエ |
| 37 | 4.2.16 ～18 | 令和3年度社会福祉主事資格認定 通信課程秋期コース スクーリン グ (WEB) | 社会福祉法人全国社会福祉協議 会中央福祉学院 | 島田 水滸 | なないろ |
| 38 | 4.2.20 | クリーニング業務従事者講習 (WEB) | 栃木県生活衛生栄表指導センタ ー | 家住 涼介 | 彩光園 |
| 39 | 4.3.20. ～21 | 強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修) (WEB) | 株式会社 BOH HAPPY CARE スクール | 大塚 哲 | ホームほのか |

| | | | | | |
|----|---------------|---|-----------------------------|--------|-----------|
| 40 | 4.2.22 | 2年が経過したコロナ禍の就労支援現場から (WEB) | 栃木県社会就労センター協議会 研修委員会 | 篠原 孝 | 彩光園 |
| | | | | 渡辺 幸恵 | 三柵屋 |
| 41 | 4.2.22 | 栃木県社会就労センター協議会研修委員会職員研修会 (WEB) | 栃木県社会就労センター協議会 研修委員会 | 永倉 徹 | 彩光園 |
| | | | | 岡嶋 梨加 | 彩光園 |
| 42 | 4.2.22 ～24 | 強度行動障がい支援者養成研修 (WEB) | 株式会社エイド | 安藤 尚子 | 彩光園 |
| 43 | 4.2.23 ～24 | 強度行動障害支援者養成研修 (実践研修) 通信講座 (WEB) | 株式会社 BOH HAPPY CARE スクール | 小野 晴美 | 愛光園ホームあすか |
| | | | | 永倉 徹 | 彩光園 |
| 44 | 4.2.23 ～24 | 強度行動障害基礎研修・実践研修 (WEB) | 株式会社エイド エイドケアカレッジ博多校 | 佐々木 健一 | 陽光園 |
| 45 | 4.2.23 ～25 | 社会福祉主事資格認定通信課程(スクーリング) (WEB) | 中央福祉学院 | 正田 欣央 | 彩光園 |
| 46 | 4.2.25 ～27 | 強度行動障害基礎研修・実践研修 (WEB) | 株式会社エイド | 小野 広久 | 陽光園 |
| 47 | 4.3.5 | 障害のある人を支援する防災研修会～コロナ禍における災害時の障害者支援～ (WEB) | 全国障害者総合福祉センター(戸山キャンパス) | 渡辺 幸恵 | 三柵屋總本店 |
| 48 | 4.3.8 ～10 | 強度行動障がい支援者養成研修 (WEB) | エイドケアカレッジ | 関 晋二 | ラクーン |
| | | | | 三田 由佳理 | 共働舎 |
| 49 | 4.3.23 ～24 | 令和3年度強度行動障害支援者養成研修 (実践研修) | 群馬県 | 渡辺 幸恵 | 三柵屋總本店 |
| 50 | 4.3.28 ～29 | 令和3年度強度行動障害支援者養成研修 (実践研修) | 群馬県 | 渡辺 幸恵 | 三柵屋總本店 |
| 合計 | | | | 77名 | |

8. 事業別職員数（令和4年3月31日）

| | | | 男 | | | 女 | | | 合計 | | | 平均年齢 | 平均在籍期間 | |
|-------|----------|-------|------|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|-------|--------|------|
| | | | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | | | |
| 山川 | 足利愛光園 | 生活介護 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 4 | 3 | 4 | 7 | 50.7 | 7.38 | |
| | | B | 5 | 1 | 6 | 1 | 4 | 5 | 6 | 5 | 11 | 48.1 | 7.93 | |
| | あすか | 1 | 0 | 1 | 5 | 4 | 9 | 6 | 4 | 10 | 57.8 | 12.96 | | |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 52.0 | 20.01 | | |
| | 小計 | 7 | 3 | 10 | 10 | 10 | 20 | 17 | 13 | 30 | | | | |
| あづま | 彩光園 | 生活介護 | 2 | 0 | 2 | 5 | 2 | 7 | 7 | 2 | 9 | 45.1 | 9.59 | |
| | | 彩 | 2 | 8 | 10 | 5 | 2 | 7 | 7 | 10 | 17 | 56.7 | 4.80 | |
| | | B | 3 | 3 | 6 | 0 | 2 | 2 | 3 | 5 | 8 | 55.3 | 4.90 | |
| | かがやき | 2 | 3 | 5 | 6 | 4 | 10 | 8 | 7 | 15 | 62.4 | 5.24 | | |
| | なないろ | 0 | 2 | 2 | 4 | 7 | 11 | 4 | 9 | 13 | 53.0 | 3.89 | | |
| | その他 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 66.2 | 19.93 | | |
| | 小計 | 10 | 16 | 26 | 20 | 17 | 37 | 30 | 33 | 63 | | | | |
| 松原 | セレッツ館 | 2 | 2 | 4 | 3 | 4 | 7 | 5 | 6 | 11 | 64.6 | 4.13 | | |
| | ラクーン | 3 | 5 | 8 | 3 | 9 | 12 | 6 | 14 | 20 | 53.6 | 4.43 | | |
| | 小計 | 5 | 7 | 12 | 6 | 13 | 19 | 11 | 20 | 31 | | | | |
| 六郷 | カレンフィールド | 5 | 0 | 5 | 5 | 5 | 10 | 10 | 5 | 15 | 38.4 | 5.61 | | |
| | カレンホーム | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 | 6 | 3 | 4 | 7 | 49.3 | 2.14 | | |
| | みやび | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 1 | 4 | 5 | 66.6 | 1.21 | | |
| | 生活介護三柵屋 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 3 | 1 | 4 | 40.9 | 3.24 | | |
| | 三柵屋 | 3 | 4 | 7 | 5 | 6 | 11 | 8 | 10 | 18 | 52.8 | 2.56 | | |
| | 小計 | 9 | 5 | 14 | 16 | 19 | 35 | 25 | 24 | 49 | | | | |
| アイタウン | ほのか | 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | 12 | 5 | 10 | 15 | 57.3 | 5.63 | | |
| | ひだまり | 3 | 1 | 4 | 3 | 12 | 15 | 6 | 13 | 19 | 63.0 | 6.23 | | |
| | 小計 | 4 | 3 | 7 | 7 | 20 | 27 | 11 | 23 | 34 | | | | |
| 稲岡 | 工場 | 愛光園 | 6 | 0 | 6 | 3 | 7 | 10 | 9 | 7 | 16 | 50.2 | 9.56 | |
| | | 共働舎 | 2 | 4 | 6 | 6 | 5 | 11 | 8 | 9 | 17 | 52.0 | 7.29 | |
| | | その他 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 51.8 | 18.51 | |
| | | 小計 | 9 | 4 | 13 | 9 | 12 | 21 | 18 | 16 | 34 | | | |
| | 介護 | 陽光園 | 生活介護 | 10 | 5 | 15 | 11 | 5 | 16 | 21 | 10 | 31 | 46.2 | 6.45 |
| | | | 入所 | 0 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 5 | 59.1 | 6.28 |
| | | サンリット | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 47.0 | 6.31 | |
| 小計 | 11 | 7 | 18 | 13 | 7 | 20 | 24 | 14 | 38 | | | | | |
| 大久保 | 一步 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 6 | 4 | 4 | 8 | 55.1 | 8.50 | | |
| | 小計 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 6 | 4 | 4 | 8 | | | | |
| 猿田 | フルーエ | 3 | 2 | 5 | 6 | 4 | 10 | 9 | 6 | 15 | 47.1 | 4.85 | | |
| | 共生 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 44.0 | 18.65 | | |
| | 小計 | 4 | 2 | 6 | 7 | 4 | 11 | 11 | 6 | 17 | | | | |
| 地域 | 相談支援 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 44.9 | 18.65 | | |
| | 小計 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | | | | |
| 合計 | | | 61 | 48 | 109 | 92 | 105 | 197 | 153 | 153 | 306 | 52.8 | 8.17 | |

9. 補助事業の活用状況

令和3年度補助事業の活用状況

| 補助団体 | 事業所（施設） | 事業名または内容 | 事業予算・補助額 | 完了日 |
|----------|---------|-------------------------------|--|------------------|
| 栃木県 | 陽光園 | 障害福祉施設等ロボット導入支援事業費補助金（介護リフト） | 総額： 610,000 円 補助： 600,000 円 | 令和4年3月 |
| 栃木県 | ホームひだまり | 障害福祉施設等ロボット導入支援事業費補助金（眠りスキャン） | 総額： 278,300 円 補助： 264,000 円 | 令和4年3月 |
| 栃木県共同募金会 | 陽光園 | 令和3年度共同募金配分（ハイエース） | 総額： 4,260,000 円 補助： 1,500,000 円 | 令和4年8月 （納車予定） |